

Kami Town Council News No.80

# かみ議会 だより

令和6年12月定例会号

しめ縄づくり体験  
(香住地区公民館事業)

今月のトピック

新年のあいさつ

香美町議会の情報はこちら





# 本年も町政の発展のため尽力します

町民の皆様には、日頃から議会運営に対し、ご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

紙上をもって皆様にご挨拶申し上げます。

※あいさつは議席順です。



岸本 正人 議長

町は、少子高齢化、過疎化、産業の衰退など、課題が山積しております。議会は、町長との二元代表制のもと、町行政のチェック、議会の提案力の強化をより一層進めてまいります。

皆様のご健勝とご多幸を心より祈念いたしまして、年頭のご挨拶いたします。



小谷 康仁 副議長

人口減少、出生数の減少、さらに本町では44.4%と県下で3番目に高い高齢化率です。その対策として重要となるのが、子育て支援、福祉の充実です。今後一層、近隣の市町との連携も大切になってきます。私は、いかなる場面においても香美町ファーストで適進します。



谷口 眞治 議員

激動の新年を迎えました。「町民が主人公」の立場で、国の悪政から町民のいのちとくらしを守る防波堤の役割を果たすとともに、「若者が輝き、高齢者・障害者にやさしい、産業も元気！」の町政めざして、全力を尽くします。よろしくお祈いします！



松岡 大悟 議員

輝かしい新年を迎えられたことと、お慶び申しあげます。昨年は50歳になり、まちの中間世代としての責任を改めて感じた一年間でした。今年も多年代の方々と多くの意見交換し、町政に反映させるべく活動してまいります。本年も何卒よろしくお祈い申し上げます。



にしかわ せいいち  
西川 誠一 議員

『健全なる精神に健全なる身体が宿る』とは精神と肉体は一つのものであって、肉体が健康であれば、精神もこれに伴って健康であることをいう。

ローマの詩人ユウェナリスの「風刺詩」から出た句です。  
今年も健康で過ごしたい。



みづか おさむ  
見塚 修 議員

○みんなが健康で、しあわせのために!!  
○快適で、安心・安全のために!!  
○そして新しい課題の、解決のために!!

○今年も地域社会の、活力ある発展を目指し、懸命に努力します。



みなみがき まこと  
南垣 誠 議員

時がたつのは早く、議員1期目のラストスパートの年。「止まらない雨はないと思うぐらいだったら、雲の上に行く努力をしよう」とある中学校の卒業式で聞いた言葉。してもらえるのを待つのではなく、自分の責任と努力で「有言実行」するスタートの1年としたい。



もりうら しげる  
森浦 繁 議員

昨年を振り返りますと、香任第二中学校の閉校に、続き奥佐津小学校、佐津小学校統廃合が計画されています。益々高齢化と人口減少が進みます。町民皆様の意見を聞き廃校となりました。校舎の再利用を検討していきたいものです。



ひがしがき のりお  
東垣 典雄 議員

約3年半のコロナ禍、経済は落ち込みました。2023年5月感染症法上の位置づけが第5類となり、ようやく経済の回復がみられます。本年は、さらに飛躍する年となるよう、本町の当面する課題解決のため取り組んでまいります。



うえだ かつゆき  
上田 勝幸 議員

今年、香美町議会議員の改選がある年。新旧何名の人が立候補されるか定かではありませんが、住民生活の安全・安心を求める声にどう対応するかが問われる選挙になって欲しいと願います。今後4年間、町政の一翼を担う議員として、地道な活動を続けてほしいと思います。



にしたに ひろし  
西谷 尚 議員

へび年は、新しい挑戦や変化、成長、変革の年とされています。また、再生や永遠の象徴とされており、金運の象徴としても知られております。低迷の議会に、未来を見据えた取り組みの年として頑張ります。皆様におかれましては、幸多い年でありますように。



よしかわ やすはる  
吉川 康治 議員

昨年は、多くの皆様から様々なご助言頂きましたこと、心より感謝申し上げます。今後子どもたちや、未来を育てる大人が活躍できる香美町を目指し、皆様と活動していきます。引き続き香美町議会をよろしくお願致します。



たの きみひろ  
田野 公大 議員

今年の干支は、乙巳(きのとみ)と言われ、「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。昨年は議会とは、議員とは何かを考えさせられた年でありました。あらためて、初心に帰る精進してまいりたいと思えます。



にしたに たかひろ  
西谷 高弘 議員

小さな声をとどけます！をモットーに、取り組んでまいりました。地域の皆さまより様々なお話を伺う中で愛する香美町の活性化と安心して暮らせる地域環境をしっかりと行政と共に進めていき、何としてもお役に立てるよう新たに決意いたします。



ふじい まさひろ  
藤井 昌彦 議員

阪神淡路大震災から30年、町内では、昨年の津波避難、一昨年の台風7号の甚大な家屋、河川、農地被害がありました。町では安心、安全を目的に防災拠点整備が進んでいます。本年も町民の皆様が、健やかに暮らせることに全力を尽くして参ります。



# 補正予算

12月定例会において提出された議案は、すべて原案通り可決しました。

◆一般会計補正予算(7号)

▲1億7155万円

◆国民健康保険事業

特別会計(4号)

1289万円

◆後期高齢者医療保険事業

特別会計(2号)

◆介護保険事業

特別会計(2号)

◆香住病院事業

企業会計(2号)

◆水道事業企業会計

(3号)

◆下水道事業

企業会計(3号)

## 一般会計

## 質疑

問 学校給食運営事業費(686万円)賄材料費の追加補正について伺う。

答 教育総務課 材料費高騰のため、1食あたり30円程度増額となり、年間では平均すると約5500円程となります。

問 地域おこし協力活動事業費(749万円)

の減額について伺う。

答 企画課 募集していた協力隊員の内2名が不足。そのため、減額しました。

## 討論

反対討論 谷口 眞治議員

①DX化に伴う住民サービス4業務の一般・国保・後期高齢者医療・介護保険など、個人情報活用は許さない。  
②物価高騰で住民の暮らしは苦しい。本予算の中に、町民支援券1万円を補正として上げるべきであった。よって反対する。

賛成討論 南垣 誠議員

学校給食賄材料費・スクールバス運行費・体育館のエアコン設置など子どもたちのための補正予算となっている。よって賛成する。

賛成多数で可決

# 条例改正

12月定例会において改正2議案が提案され、すべて原案通り可決しました。

◆香美町監査委員条例等

の一部を改正する条例を定めることについて

賛成全員で可決

◆香美町民間活動等支援交流センター「八チ北温泉湯治の郷」条例の一部を改正する条例を定めることについて

## 質疑

問 町外利用者の料金を改正する条例改正で、指定管理者の経営改善を図る目的だが、改善見込みでどの程度の売上高を想定しているか。

答 村岡地域局 現行の町外利用者数が約1万人で、八チ北スキー場への観光客が主です。なので今回の利用料値上げによって利用者数に変化はないと考えているので、1000円から2000円程度の値上げで170万円程度の売上増と考えています。

問 他町の町内温泉施設失田川温泉やおじろんの利用料との整合性も考えたのか。

答 村岡地域局 町直営である矢田川温泉・おじろんの状況も鑑みて庁内で検討しました。八チ北温泉は指定管理での経営のため、今の経営状況を続けて欲しいとの判断で協議しました。

賛成全員で可決

## 報告 委任専決

町道無南垣訓谷線消雪施設更新工事の契約変更することについて

新設した井戸の水位が地表より高いため、揚水管等の延長及び防護コンクリートの追加と里道迂回に伴う、里道水路の構造変更するものです。

請負金額 6435万円  
6970万円

◆損害賠償額を定めることについて

町塵芥収集車が作業中に運転操作を誤り相手方車両に接触し損害を与えたものです。

44万1460円

◆専決処分をしたものにつき承認を求めることについて

令和六年度香美町一般会計補正予算(衆議院議員選挙費用)

## 質疑

問 仮設トイレの場所は総務課 旧秋岡へき地保育所です。

問 修繕費、機械器具備品の内訳は

答 総務課 計算機、自動読取機です。

問 他の選挙で使用できるのか

答 総務課 使えらると考えています。

賛成全員で可決

## 人事同意 案件

人権擁護委員  
(香住区4人、村岡区3人、小代区3人)



いとう しんご 伊藤 新吾さん

【新任】  
(香住区若松)

◆任期は、令和7年4月1日から3年間です。



いのうえ みつお 井上 光男さん

【再任】  
(小代区広井)

◆任期は、令和7年4月1日から3年間です。

# 請願・意見書

今定例会では請願第2号が提出・採択され、そののち、意見書(案)第2号が提出され賛成多数で採択しました。

## 請願第2号

### 「持続的な学校の実現を目指す」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について

この請願書は、12月2日本会議において産業建設文教常任委員会に付託され、森浦委員長より委員会審査報告が行われました。委員会での審査結果は賛成多数で採択との報告がありました。

その後、議場にて質疑・討論ののち採決、賛成11名反対2名の賛成多数で採択しました。

## 意見書第2号

### 持続可能な学校の実現をめざす意見書(案)

## 意見書 → 今回のポイントと審議結果

### ◎今回のポイント

- 1 教職員の負担軽減をはかる観点から、国として具体的業務削減を示すこと  
(1) 部活動の地域移行をさらに進めるため、財政的措置を講ずること  
(2) 「カリキュラム・オーバーロード」の実態にあることから、学校指導要領の内容の精選やそれに伴う標準授業時数の削減等を行うこと
- 2 教職員定数改善を実施すること
- 3 自治体での取り組みが確実にすすむよう、人の配置・確保も含め、推進のための必要な財源確保等を行うこと
- 4 教員のいのちと健康が守られる法制度の整備をはかること
- 5 引き続き、勤務実態調査を行ったうえで、その結果に基づき必要な措置を講ずること

### ◎審議の結果

賛成：9名 反対：4名

※議長は採決に加わりません

→ 審議結果 採択



### 反対討論 南垣 誠議員

意見書に記載されている5つの内容については必要なことと理解している。

しかし、質疑に対する答弁で給特法に関して残業代4パーセントを増額すれば教員のいのちと健康が守られるという答弁に疑問を感じます。

また、香美町議会として提出する意見書は、香美町の教育環境、香美町の取り組みを尊重し、子どもたちの教育環境を第一に考えたうえで、香美町教職員の働き方に配慮した内容であるべきと考えます。

## 計画変更

香美町過疎地域持続的発展計画で2事業を追加。

- ①村岡中学校体育館整備事業  
体育館に空調設備が設置されます。
- ②村岡小学校プール整備事業  
老朽化したプール設備の改修が行われます。

### 質疑

**問** 本年、故障によりプールが使用できなかったが、原因箇所の改修も含まれるのか。

**答** **教育総務課** 含まれます。

## 契約

国道9号笠波峠除雪拡幅事業に伴い、墓地を黒田区に移転。

契約の目的:福岡墓地造成工事  
 契約の方法:制限付一般競争入札  
 契約の金額:金87,978,000円  
 契約の相手方:石井建材株式会社  
 代表取締役 田村 隆

### 質疑

**問** 所有者が分からない墓はあるのか。

**答** **建設課** ありません。

## 追加議案

12月定例会において条例改正3議案・補正予算6議案が提案され、すべて原案通り可決しました。

◆香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

◆香美町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて

◆香美町一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例を定めることについて

### 質疑

**問** 一般職の賞与引き上げの判断は、誰が行うのか。また公平な判断となる基準があるのか。

**答** **総務課** 一般職の成績優秀者の勤勉手当の支給上限の判断ですが、本町でも人事評価は行っています。一部職員からは、課長ごとの評価の違いの指摘は受けており、早急

## 討論

反対討論 南垣 誠議員

議員の報酬は、人事院勧告に従う必要はありません。香美町議会改革調査特別委員会で議員報酬の引き上げは、町民の理解が得られない。議員定数とセットで考えるべき等の意見があり、定数、報酬は現行のままとする結論を議員全員で決定しました。にも関わらず、結果的に年収増となる期末手当に係る割合変更を行うことは町民に対して説明がつきません。

賛成多数で可決

## 議案の審議結果

※賛否が異なった議案のみ掲載しています。

議案番号	議案名	谷口 眞治	松岡 大悟	西川 誠一	南垣 誠	東垣 典雄	西谷 尚	小谷 康仁	田野 公大	藤井 昌彦	見塚 修	森浦 繁	上田 勝幸	吉川 康治	西谷 高弘	岸本 正人
138	令和6年度香美町一般会計補正予算(第7号)	×										×	欠			—
145	香美町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	×			×			×				×	欠			—
146	香美町特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例を定めることについて	×										×	欠			—
148	令和6年度香美町一般会計補正予算(第8号)	×			×							×	欠			—
請願2	「持続可能な学校の実現をめざす」実効性ある学校の働き方改革、長時間労働是正を求める意見書採択の請願について				×			×					欠			—
意見書2	持続可能な学校の実現をめざす意見	×			×		×	×					欠			—

空白…賛成、×…反対、欠…欠席 ※議長は採決に加わりませんので「—」で表示しています。



みんなが望んでいます

能登半島地震災害の復旧・復興の遅れでもわかるように、地方には交通の確保が強く求められる。よって次のことを伺う。



みづか おさむ 議員 見塚 修

地方が交通の確保を強く求めている  
道路整備は最重要課題です



- ①山陰近畿自動車道佐津豊岡間の整備は。
- ②主要地方道香住村岡線の整備は(大乘寺バイパスⅡ期・中野地内安全対策)。
- ③今年度の除雪体制は。

町長

①山陰近畿・北近畿自動車道の早期完成は最重要課題と捉えています。竹野・豊岡間は令和3年度に事業化され、本年

度は詳細設計、用地買収、工事用道路を施行し、事業を推進しています。佐津・竹野間は予備設計、ルート・構造物を検討中で事業化に向け準備中です。

の実行の要望を続けます。中野地内は令和11年度以降に着手し、15年度までに完成と聞いています。

③生活の基盤となる道路の除雪は33社に委託し、交通の確保を図るとともに、要望のあった3区へ小型除雪機を導入しました。

# 町政を問う!

## 一般質問

12月定例会での一般質問は12人の議員が町政全般について質問を行いました。

一般質問は、議員が町政全般について執行状況や将来に対する考え方など、現状や方針を問うものです。

議員一人当たりの持ち時間は、町長の答弁を除き30分以内と決められています。

内容については、議員本人が執筆(要約)したものを掲載しています。

(※QRコードでそれぞれの様子を視聴できます。)

# 一般質問



香住区と村岡区を分断する町民バス



この水田風景を守る施策を

バス運賃の値上げが予定されており、公共交通が十分でなく、送迎に使う燃料油も高騰するなど通学に掛かる費用負担が増し



みなみがき まこと 南垣 誠 議員

## 高校生の通学・下宿に補助を 定期代値上がりもあり検討します

ている。通学定期の補助拡大、燃料費補填、下宿代の補助を。  
また、町民バスの利便向上、過去に伺った質問内容について再度伺う。

町長 通学定期については補助上限の引き上げも含めて検討します。送迎の燃料費と下宿代については検討しません。

村岡く香住線のバス1本化は通学等ニーズがあれば検討します。バスの利便性向上については新たな手法を検討し進めます。  
「過去の質問」について

町長 新たなアニメキャラクターについては研究してみたい。体育館へのエアコン設置については令和7年度に

村岡中学校に新設します。  
教育長 冬の通学路除雪については児童生徒の安全確保のため申し入れます。大阪万博の見学については希望校がありません。学校が連れて行くのでは無く、家庭の判断で行っていただきたい。  
小代区の学校再編は今



ひがしがき のりお 東垣 典雄 議員

## 農業の補助充実で水田農業を守る施策を 農業の中核的担い手育成に取り組みます

多面的機能支払い、中山間地域等直接支払い、環境保全型直接支払いの3本からなる日本型直接支払制度。令和7年度から次期対策が

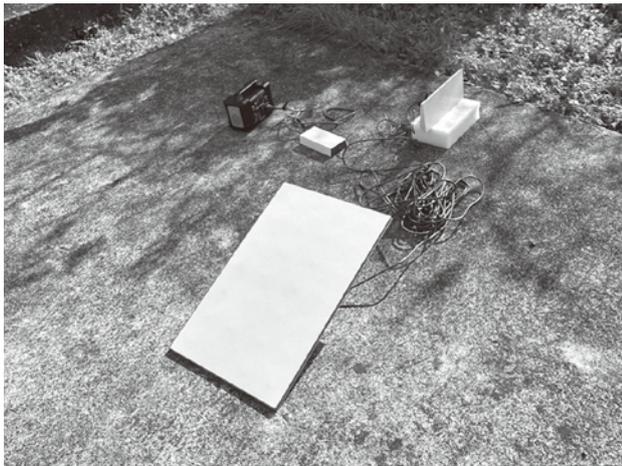
始まりです。次期対策に取り組む重点課題は、また農業施策として地域農業の中核的担い手及び認定農業者の育成・確保を推進するための農業近代化施設整備事業があります。  
この施策による機械購入補助対象の機械購入総額1000万円の上限の増額を求める。

町長 重点課題は、担い手不足、高齢化を理由に取り組みの継続が厳しい地域がありその対応です。対応のひとつとして組織の広域化も含めた取り組みの継続を促進します。農業近代化施設整備事業補助金の現状と成果は30の農業者に対し4800万円の補助金を交付しています。

交付を受けた農業者の水田耕作面積は、毎年5ha程度の集積が進み規模拡大に寄与しています。  
また、農作業効率が上がって農作業受託を増やすことも出ています。  
機械購入金額1000万円の上限は検討します。



# 町政を問う!



衛星から高速ネット受信



高井子育て・子育て支援センター

時代は、SNS、インターネットの急速な変化をひしひしと感じられるようになり、その重要性を強く感じる。



ふじい まさひこ  
藤井 昌彦 議員

## 光回線未整備地区解消を!! 衛星通信利用で解消に努めます

町では、光回線未整備地区解消を目的として、衛星を利用した新たな高速インターネットについて調査を行っている。と聞いた。

①調査の進捗と経過は  
②課題は  
③今後の展開は

**町長** ①光回線サービスが未提供16集落で衛星高速ネット通信スター

リンクを使用し調査した結果、通信状況は良好でした。

②アンテナには冬の融雪機能は搭載されているものの実際に積雪時のインターネット接続状況を引き続き調査します。

③各世帯で毎月のサービス利用料以外に、アンテナの経費、設置工事費用



が必要と想定されます。



こだに やすひと  
小谷 康仁 議員

## 子育て支援をどの様に充実させていくのか 安心感を持って子育てできる町を目指します

第2次香美町総合計画 後期基本計画の基本方針に「地域で子育てを担うまち」が示されています。基本的な方向性として、子ども

もの成長にあわせた切れ目のない支援を充実させ、安心して子育てができる環境づくりに努めるとされています。子育ては、単に子どもを育てること以上の意味を持つ、非常に重要な役割です。本町に限った事ではないが、出生数が極端に少なくなっている現在、今後、子育て支援を

どの様に充実させていくのか?

**町長** 少子化に歯止めをかけるため、様々な支援や取り組みを進めていきますが、出生数の減少がとまらず、非常に厳しい状況であることは十分に認識しています。出生数の向上には、この支援を

なければ、誰も気づかなかった奇策などもありません。子育て中の家族を地域の人たちが快く受け入れ、地域や他の子育て中の親子とのつながりの中で、安心感を持って子育てができるまちの実現を目指して、今後も子育て施策の展開をはかります。

## 地域計画をつくると・・・

- 農地がずっと守られる
- 日本の農産物がずっと作られる
- 新しい農地が利用できる
- 農地が荒れることがなくなる
- 地域が活気づく

地域計画のメリット(農林水産省HPから抜粋)



兔塚・川会診療所



よしかわ やすはる  
吉川 康治 議員

- ① 町長の考える持続可能な農業とは。
- ② 一般法人の農業参入に対する支援は。
- ③ 町内全域の地域計画

策定のスケジュール感は、**町長** ①農業所得のみで生活していける、もうかる農業です。

② 一般の法人が農業に参入されることはこれは歓迎すべきこと、町が何らかの支援ができるようなことがあればさせていただきます。

③ 進んでいる地区は3月

を別途に、そのほかの地区は今後も役場としては話を続けていきます。

地域計画とは、農業者や非農業者を含めた地域の皆さんの話合いにより、目指すべき将来の農地利用の姿を明確化する設計図です。

## 持続可能な農業とは 農業所得だけで生活できることです



にしだに ひさし  
西谷 尚 議員

村岡区にある診療所は、医師不足・施設の老朽化・患者数の減少など大変厳しいものがある。以下3点伺う。

① 診療所の状況は  
② 兔塚診療所の状況は  
③ 今後の診療所の課題と方向性は

**町長** ①②について、川合・兔塚の状況は、患者数・診療収入も減少しています。兔塚診療所については、レントゲンなど高度な医療機器も無く定期的検査・薬の処方・予防接種や健

康相談などを行っています。利用者は70歳以上の近所の方が主となっています。

③ 課題は、医師・看護婦、医療事務などの人材確保。施設の老朽化の問題もあります。R7年を目処に意見を聞きながら決めていきたい。

**利用者にとって見れば、自分達の健康維持のための身近な施設で、無くては**

ならないものだ。特に高齢者にとっては命に関わる。切り捨てることはできない。仮に閉鎖となった場合、必ず「足」の確保だけは行政の責任とすべきだ。

**町長** 地域の皆さんのご意見を丁寧に向いながら、医療が受けられる医療全体の構築に向けて取り組めます。

## 兔塚・川合診療所は持続可能なのか 診療所はR7年を目処に決めていきたい



# 町政を問う!



再編後の利活用を早急に作るべき



まちの主役は町民です

学校再編を検討する上で、使い道のある校舎を空けていき、将来的に校舎を解体といった考えを持って、再編検討委員会に図つ



もりうら しげる  
森浦 繁 議員

## 学校再編に伴う空き校舎 地域や保護者の意見や要望を伺っていきます

していく必要があるのではないかと。

- ①学校再編検討は、どのような状況なのか伺います。
- ②空き校舎は、今後、時期を見て解体する考えはあるのか伺います。

**町長** 空き校舎の利活用検討は、町の公共施設利活用検討委員会は県を通して決定していますが、

検討に当たってはその手順を定めており、まずは所管課、それから、他の公共施設としての利活用の意向、これが一番です。次に、地域の意見や要望を把握して、有効な利活用方法があればその用途に転用していきます。そうでない場合は、サウンディング型、市場調査や、文科省のみ

な廃校プロジェクトへの登録を行って、民間事業者等による利活用を求めます。有効な利活用方法であると判断すれば、希望する民間事業者等に譲渡していきます。利活用も見込めない場合は、施設の解体を検討していきます。



まつおか だいご  
松岡 大悟 議員

## 住民参画型の町政運営について問う 多くの町民の意見を反映させる事は大切

政策をつくりあげる過程で、住民の意見聴取など住民参加を求めてつくられた政策もあるが、住民参加にとどまらず、行政と住

民との意見交換や合意形成のもとでの政策計画立案や意思決定を行う住民参画の町政運営が行われているとは思いません。住民参画型での町政運営を町長はどのように考えているのか所見を伺う。

**町長** 町政運営への積極的な住民参加の重要性が一般に論じられてい

ます。町民の意見を直接伺う機会として、年一回ではあるが、各区で町政懇談会を開催しています。その他にも、まちづくり懇談会、町政へのご提案ご意見箱により町民のご意見を伺う制度も設けています。次期総合計画策定に向けて町民アンケート調査も行いました。さらに各区の住

民を対象としたワークショップを行っており、その開催に当たっては広報等を通じ、広く参加を募っています。行政と住民団体が連携して地域課題を解決し、まちづくりを行っていきます。



# 一般質問



危険木伐採作業



マイナ保険証の使用、本当に大丈夫？

本年、環境保全型森林整備事業が5月から7月26日の要定期限で詳細は3事業、特に危険木の伐採については、区、自治会



にししたに たかひろ 西谷 高弘 議員

## 環境保全型森林整備事業は 来年度も本事業を継続実施予定です

は整備事業に対して感謝の声もあった。今回の整備事業希望数、また地域、区内の河川にある自然木の対策は。

況は要望総数37件となり、全て現地確認の結果他の事業に振替えて除いた25件を対象となり間伐事業2件、生活保全森林整備4件、危険木伐採19件となり令和7年3月7日までの整備完了としますが、令和7年度も事業継続とします。

町長 集落の行う生活保全、整備及び危険木伐採については、上限を100万円として補助対象事業費の100%補助金とした事業の取り組み概

地域区内の河川にある自然木対策は区長、住民の皆

さんから要望をいただければ、町で処理できるものは町で、県の管理する2級河川や矢田川は新温泉町土木事務所へつなぎます。



たにくち しんじ 谷口 眞治 議員

## 「現行の保険証」を残せ！

そういう方向でまともなればよいと思います

12月2日に現行保険証の新規発行を停止し、「マイナ保険証」への一本化が強行された。  
①従来の健康保険証が使

えないと誤解するなど混乱が起こっていないか。  
②国に対して住民の不安にこたえる広報活動を求める必要はないのか。  
③一番の解決策は、「マイナ保険証」と同様に、現行の「健康保険証」を残すことではないか。国に声をあげるべきではないか。

町長 ①現時点では、マイナ保険証の質問や問い合わせはありますが、従来の保険証が使えないなど誤解による混乱は確認していません。診療所や香住病院でも現在のところ、目立った混乱はありません。  
②国としてもマスメディアでの周知を行っており、

現状では、政府にさらなる広報活動を求めることは考えていません。  
③様々な声があるようで、わたしが何も政府に言うことではなしに、地方6団体のひとつである町村会を含めそういう方向でまともなればよいという思いはしています。



# 町政を問う!

## \\ その他こんな質問もしました //

質問議員	質問項目
見塚 修	<p>活力と安心・安全のまちづくりを求めて(Part3) (活力編その1) 浜上町政12年間の町政運営の取り組みとその評価について伺う。</p> <p>(活力編その2) 次期町政に対する想い、姿勢について伺う。</p>
東垣 典雄	中学校部活動地域移行について問う。
南垣 誠	<p>お伺いしてきた一般質問について町長に問う。(後編)</p> <p>お伺いしてきた一般質問について教育長に問う。(後編)</p>
小谷 康仁	本町の小・中学校の学力について問う。
西谷 尚	<p>村岡区の歯科診療所の現状と今後について問う。</p> <p>岡見公園の安全対策について問う。</p>
吉川 康治	地域学校協働活動について
森浦 繁	スキー教室をふるさと教育の一環として実施することについて問う。
谷口 眞治	<p>町民のくらしを守る物価高騰対策について問う。</p> <p>ノーベル平和賞と「核なき世界」について問う。</p> <p>子どもの学習と安全確保について問う。</p>
西谷 高弘	地方活性化、二地域移住について問う。
田野 公大	これからの学校教育の環境変化をどのように捉え、どうあるべきと考えているか。

## コミュニティ・スクールの取組で広がる魅力

子供にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 子供たちの学びや体験活動が充実します。</li> <li>● 自己肯定感や他人を思いやる心が育ちます。</li> <li>● 地域の担い手としての自覚が高まります。</li> <li>● 防犯・防災等の対策によって安心・安全な生活ができます。</li> </ul>
教職員にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地域の人々の理解と協力を得た学校運営が実現します。</li> <li>● 地域人材を活用した教育活動が充実します。</li> <li>● 地域の協力でより子供と向き合う時間が確保できます。</li> </ul>
保護者にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 学校や地域に対する理解が深まります。</li> <li>● 地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。</li> <li>● 保護者同士や地域の人々との人間関係が構築できます。</li> </ul>
地域の人々にとっての魅力	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 経験を生かすことで生きがいや自己有用感につながります。</li> <li>● 学校が社会的つながり、地域のよどころとなります。</li> <li>● 学校を中心とした地域ネットワークが形成されます。</li> <li>● 地域の防犯・防災体制等が構築できます。</li> </ul>

取組みで広がる魅力(文部科学省冊子から抜粋)

現在導入している地域と学校が協力して子どもたちの成長を支える「地域と共にある学校」をめざしたコミュニティ・スクール



たの きみひろ  
田野 公大 議員

地域と学校が子どもたちを育む社会へ  
地域の風土として根付かせます

について以下を問う。  
① 導入状況は  
② 組織や研修等推進体制は  
③ 現状での課題は

**教育長** ① 学校運営協議会の設置等に関する規則を整備し、令和6年度から全小中学校に導入し計画的に運営を進めています。

② 協議会メンバーは学校長、教職員、自治会代表、PTA代表、青年会議所、公民館などで構成し、文科省派遣のCSマイスターによる教職員研修を毎年実施しています。そして、研修会、先進事例の共有で意識向上を図っています。  
③ 活動の周知や、地域・学校・家庭の連携機運が十分

ではないなどの課題があります。今後、目標の再共有や先進事例の活用で協働を促進、子どもを地域全体で育てる意識を強化し、地域の風土として根付かせることを目指します。



## 委員会視察 研修報告

# 公共交通の維持・発展と香美町民の健康増進

総務民生常任委員会 委員長 田野 公大

香美町の公共交通はJR、路線バス、町民バスで構成され、町民バスでは予約制やフリー乗降区間の設定など利用促進に努めています。しかし、路線バスの廃止やJRの減便が懸念される中、公共交通の維持・発展を図るため、他自治体の取り組みを参考にすべく、視察研修を実施しました。また、健康施策「健幸ポイント事業」で健康アプリを導入している自治体についても研修を行いました。

### ◆ 過疎地域の公共交通の取り組み

#### ○ 京都府南山城村

京都府南山城村の「村タク」事業は、地域住民が運転手を務める予約制のオンデマンド交通（有償自家用運送）です。その立ち上げにあたり、地域住民や商工・観光業などの事業者との徹底した懇談会を重ね、合意形成に努めた点は重要なポイントです。

また、電話予約オペレーターには、地域に詳しく住民に信頼されている人を採用し、安心して利用できる予約環境を整備していることも特筆すべき点です。

さらに、運行時間や対

象エリアの拡大など、利

便性向上のための不断の見直しや工夫も素晴らしい取り組みといえます。

また、先進的な予約アプリを活用したシームレスな運送（MaaS）の実証実験にも取り組みました。この試みは現時点では高齢者が多い過疎地域には適さないと結論付けられましたが、将来的にはその有用性が期待されています。（国交省採択事業・民間基金補助活用・企業版ふるさと納税活用）



### ◆ アプリを利用した健幸ポイント事業の取り組み

#### ○ 兵庫県多可町

香美町では、紙ベースで健幸ポイント事業を実施していますが、多可町は加西市と共同でアプリを利用した健幸ポイント事業を展開しています。共同運用により、導入・運用コストを低く抑えることができています。

このアプリの利点として、歩数などが自動でカウントされスマホに記録されるため、集計やポイント付与の手続きが簡便である点が挙げられます。また、従来は商品券との交換のみだったポイントを電子マネーポイントに変換できる仕組みも導入

され、利便性が向上しています。

一方で、最大の課題はスマホを持っていない人が参加できない点です。参加者を増やすためには、紙ベースとの併用を検討することが有効でしょう。また、スマホや電子マネーの普及を見据え、将来的にはアプリ利用の拡大を検討する必要があります。と考えられます。

### MaaSとは？

ICTを活用して交通をクラウド化し、公共交通か否か、またその運営主体にかかわらず、マイカー以外のすべての交通手段による移動方法を1つのサービスとしてとらえる新たな「移動」の概念です。

## ◎ 提言

### ① 公共交通事業

公共交通の維持・発展を目指し、MaaSの導入検討、地域住民との合意形成による主体的な関与の促進、予約環境の改善、他自治体との連携による広域バス運行、有償自家用運送の活用、JRや路線バスとの連携・接続、不断の見直しと改善、

### ② 健幸ポイント事業

健幸アプリの導入に向けて、他自治体との共同導入の検討、通年事業化の模索、健幸ポイントのマルチポイント化、さらに利用者を支えるサポート体制の構築に取り組む必要があります。



南山城村で研修を受ける委員

## 委員会視察 研修報告

# 人口減少に伴う廃校の利活用

産業建設文教常任委員会 委員長 森浦 繁

香美町においては児童数減少、更なる少子化が見込まれ、6年度に2つの小学校が閉校したのを皮切りに、令和10年度までに順次5つの小学校が閉校する予定となっています。その結果、空き校舎となる学校施設をいかに有効に活用し、今後の町づくりにご活用していただくが大きな課題であると捉え、当委員会は先進的に活用されている自治体について調査研究を行いました。

### ◆いちご農園と地ビール

#### 工場 610BASE (ムトベース)

#### ○京都府福知山市

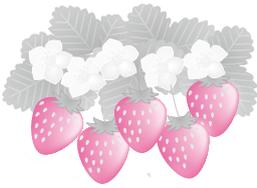
京都府福知山市では、児童数の減少に伴う再編により16校の廃校が発生しました。そのうち8校が民間で活用されており、そのなかの旧中六人部なかもとべ小学校を舞台に、「楽しい新しい農業から地域は変わりだす」を目指し、地元企業がいちご農園の開設、地ビールの製造販売を行っています。福知山市では、廃校活用方針を策定し、廃校舎は現況有姿で無償譲渡、土地のみ有償もしくは賃貸で事業者の手によって活用されています。

### ◆漁村体験 みささち

#### ○福井県若狭町

企業の受入については、金融機関との公民連携促進に関する連携協定を締結し、関係機関の協力関係をより発展させると共に継続的な連携を図っていました。さらに、地域資源を有効活用し、持続的な成長・活性化に取り組んでいました。

また、廃校マッチングツアーを行い、バスで受入可能な廃校を巡り進出を検討している企業へのアピールをされています。



イチゴハウス (福知山市)

恵まれた漁村環境を活かし、廃校となった岬小中学校を有効活用するため、西浦地域づくり協議会や金井学園(福井工業大学)と連携し都市部の若者たちを漁村部に誘致

すると共に、漁獲や加工等の体験学習と中長期的な漁村滞在を通じた地域間交流を促進することで、漁村交流人口の拡大と地域産業の振興を図っていました。

福井工業大学の公開講座や、魚さばき体験、まつりやフェスの開催を行ったり、逆に大学へ西浦地区まちづくり協議会が出店するなど交流を深めていました。

こちらでは、1億円を超える施設整備を行い、指定管理とする方式で活用されていました。

### ◎提言

どちらの利活用も比較的資力のある企業、学校法人が名乗りを上げられ、具体的事例をまねることは難しい部分もあったが、少なくとも以下の3点は早急に取り組む必要があると感じました。

- ①教育委員会に丸投げせず廃校利活用に特化した新しい組織を早急に創るべき
- ②廃校利活用方針を早急に策定するべき
- ③廃校後の地元との協議が遅い。閉校が決まっている現在、具体的になくても、抽象的な要望だけでも、早急に話し合いを持つべき



若狭町で研修を受ける委員

# 広報紙コンクールで 努力賞をいただきました

令和6年10月28日に太子町で行われた令和6年度議会研究会に於いて、第45回議会広報紙コンクール表彰式が行われました。

香美町広報公聴常任委員会では「かみ議会だより77号」を出品し、努力賞をいただきました。

広報紙コンクールは毎年兵庫県町議会議長会の主催により開かれています。

12町議会の広報委員会と一緒に、広報クリニックスなどを通じて、編集技術の向上と読みやすさ、読者に伝わる紙面作りを研究しています。



広報公聴常任委員会の委員



※「かみ議会だより No.77」はHPでご覧になれます

- ・昨年と比べるとレイアウトがすくよくよくなっている。
- ・とにかく文字が小さく多い。見て疲れる。取捨選択し特に町民に伝えたいことを厳選したい。
- ・討論が議案ごとに配置されている点は分かりやすい。
- ・表紙  
・通学風景がうまく切り取られデザインもすばらしい。



表彰を受ける南垣委員長

## ◆広報紙が出来るまで◆

議会広報の編集作業は、議会での討議や決定事項、議員の活動報告、議会の運営に関する情報などを町民の皆様によりわかりやすく伝えるために、広報紙を作成しています。広報紙作成に関わる主な活動には次のようなものがあります。

### ①議事録の整理・編集

議会での会議や討論の内容を元に、わかりやすく整理して掲載する原稿を作成します。

正式な議事録に基づいて、要点を抜粋したり、誤解を避けるために文言を修正したりします。

### ②特集記事の執筆

議会の活動や重要な決定、議員の個別の活動報告などについて、特集記事として作成します。

興味を持って頂き、議会の役割を理解してもらうために工夫を凝らします。

### ③デザインとレイアウト

編集した内容を実際の広報紙として形にするために、デザインやレイアウトの作業も重要です。写真やイラストを配置したり、視覚的に分かりやすく伝えるための工夫を行います。

### ④校正とチェック

最終的な広報紙が正確で誤解のない内容になっているかを確認するための作業。言葉の使い方や誤字

脱字、デザインのバランスなどもチェックします。

### ⑤配布と発行

完成した広報紙は、町民の皆様へ各家庭への配布やウェブサイトでの公開などの形で皆様へ情報をお届けします。

### ⑥皆様からの

フィードバックの収集

広報紙に対する住民の意見を収集し、今後の広報紙作成など、活動に反映させることも重要です。これらの作業も広報公聴常任委員会の委員によって行われています。

## 広報公聴常任委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 南垣 誠  |
| 副委員長 | 西谷 尚  |
| 委員   | 松岡 大悟 |
|      | 小谷 康仁 |
|      | 藤井 昌彦 |
|      | 上田 勝幸 |
|      | 吉川 康治 |



広報公聴常任委員会の様子

## ◆編集後記◆

いつも議会広報「かみ議会だより」をお読みいただき、ありがとうございます。寒い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

昨年は、衆議院議員選挙や兵庫県知事選挙など、町民の皆様のご生活に関わる大事な選挙が2度ありました。それにより、12月定例会の日程はいつもと少し変わりました。

選挙は、私たち日本国民に保障された非常に大切な権利です。

4月には、香美町でも町長と町議の選挙が予定されています。皆さんが思い描く町の未来と、候補者の考えを比較しながら、応援したい人を見つけていただければと思います。

私たち議員一同、残り少ない任期の中で、それぞれが理想とする香美町を実現するために、引き続き努力していきます。

